



勝浦ロータリークラブ

No. 29 / Total 2479
 例会: 2016. 03. 11
 発行: 2016. 03. 18

会長挨拶 漆原摂子君

皆様こんにちは。東日本大震災から5年目の節目、今日はその当時、ロータリーでどのような支援体制がとられたかについて申し上げます。日本ロータリーにはガバナー会という組織があります。これは全国34地区のガバナー34名の集まりで、大地震のあと緊急ガバナー会が召集され、この会が窓口となり義援金を集めることになりました。当クラブも理事会で100万円を会の貯金の中から送金、結果全国34地区から会に集まった義援金総額は10億3,800万円でした。同時にガバナー会内に、東日本大震災支援検討委員会が発足、集まったお金をどうするかが検討され、まずはそのうちの約12%を被災地区へお見舞金として送金しました。8億7,000万円が残りましたが、委員会で2つのプログラムが提案されました。1つは、保護者を失った学生への支援、もう1つは「five for one」という、5つの非被災クラブが共同で1つの被災クラブを支援するというものでした。ところが7月となり新年度を迎え、ガバナー会のメンバーも一新すると、2つのプログラムに異議を唱えるガバナーや、ガバナー会にはそんな権限はないという声も上がりました。結果34地区の新ガバナーのうち、前年度に決めたプロジェクトに賛同したガバナーは10地区のみ。そこで8億ちょっとの残ったお金は、一旦各地区に返還となり、地区がそれぞれの判断で地区内クラブの意見を受け被災地を支援することとなりました。当クラブが2012年夏に、創立50周年事業として実施した、福島県立盲学校の子供たちを勝浦に招待するという水野会員ご提案のプロジェクトも、この返還となった基金から補助金を受け実施しました。なお、保護者を失った学生への支援については、「R希望の風奨学金」という形で発足し、現在も継続しております。これは短大・大学生・専門学生に入学から卒業まで毎月5万円を給付するというもので、現在でのべ228名へ給付が行われました。また世界中のロータリアンも日本に思いを寄せて寄付の声があり、こちらの受け皿はロータリー財団でしたが、総額841万ドルが集まりました。日本国内のロータリアンのみでも10億円強の義援金に加え、世界からも多額の義援金が集まったことに、東北大震災という未曾有の出来事に対するロータリアンの絆と思いやりを感じた次第です。

ポールハリス フェロー 千葉正徳君



国際ロータリー会長
 K. R. ラビンドラン
 第2790地区ガバナー
 櫻木 英一郎
 第5分区分ガバナー補佐
 吉岡 諭史

第2790地区委員会
 ロータリー理念研究委員会
 館山 島 正彦
 地区研修委員会
 館山 渡邊 勲
 R財団寄付金小委員会
 鴨川 伊藤 正人
 職業奉仕委員会
 勝浦 斉藤 豊久
 奨学金小委員会兼学友小委員会
 勝浦 関 一憲

勝浦ロータリークラブ
 会長 漆原 摂子
 幹事 斉藤 麻美子

クラブ会報委員長
 磯野 武
 副委員長
 関 正己
 委員
 小林 悠紀
 渡辺 一浩

◆ 今後の予定

3月25日会員卓話
 関一憲君 スリラン
 カ訪問報告
 4月1日 会員卓話
 小林会長エレクト
 PETS報告
 4月8日千葉南RC
 との竹の子合同例会



漢書報告 齊藤麻美子君

地区より 書き損じはがきの御礼、野球リーグ参加案内
千倉RCより、4/1、4/29休会、八街RCより50周年記念式典、5/21成田ビューホテル1時より

理事会報告

- 1号 例会プログラム承認
- 2号 鴨川RC55周年参加を会員に連絡
- 3号 竹の子例会、南千葉RCとの合同例会
- 4号 勝浦フレンズソフトボールチームに1万円協賛金

委員会報告

池田哲夫社会奉仕



ロータリー希望の風
奨学金よろしく

鈴木覚三郎青少年交換



交換留学生であったエンジェラ ハリスさんが我が家を訪れました。

ロータリーの友 2001年9月号より一部抜粋

「天皇の城に行きました」勝浦 鈴木覚三郎

当クラブは、交換学生34人の実績があるが、1年間の留学生活を終えて、一回りも二回りもたくましくなり、立派な青少年に成長した姿を見たとき、計画に携わり、苦勞し、そして楽しんだ関係者の一人として無常の喜びを感じる。

(エンジェラ ハリスさんが皇居に行った事を伝える手紙を頂いた鈴木会員の青少年交換計画みょうりに尽きる思い。)

ニコニコBOX 渡邊一浩親睦活動委員長

配偶者誕生日及び結婚記念日 磯野武君

家内は恋人(孫)ができ喜んでいる。

結婚記念日 池田哲夫君



3月11日です。希望の風奨学金の寄付をお願いします。

結婚記念日 渡邊一浩君



3月6日です。平安閣で雪のちらつく日でした。自営なので、毎日が記念日です。

自主申告 関一憲君



娘が大多喜中学校卒業しました。

会員卓話 三上直哉君(心研野球塾コーチ)



「野球を通しての自叙伝」

野村監督との出会い、監督から頂いた数々の言葉敵は我にあり、人生に近道なし、失望なし、待たなし
出席報告 吉田理愛君 3月11日

会員37名 出席31名 MU3名 欠席3名
出席率91.9%